



# 学校だより

令和3年度小川中学校  
令和3年10月15日 発行

NO, 7 文責:小林 浩一

## <第59回若鷹祭が感動と達成感とともに閉幕 10/2土>



### ～閉会式での生徒会長松本蒼都さんの挨拶より～

今、ここに、若鷹祭が終わろうとしています。今年も新型コロナウイルスなどの影響で、昨年と同様、若鷹祭が一日開催となりました。

感染予防策として、マスクを着用して歌うことや人との距離を空けるなど、いろいろな制約もありました。でも、私たちは例年にない若鷹祭を創ろうと気持ちを一つにして今日まで準備をしてきました。

若鷹祭の準備で、まず最初に行ったのは、テーマ決めです。今回の若鷹祭テーマ「Star～一人一人の煌を～」には様々な思いが込められています。それを一言で言うならば、「活躍」です。Starという言葉のように、自分や仲間がいかに煌めき、活躍してとり着いたのかが大切だと思います。テーマに続いて、代表ポスター決め、ステージバック、アーチ制作の準備などが次々と行われましたが、全校で協力して行い、一人一人が活躍して進めてきました。

また、生徒会では、各委員会が責任をもってそれぞれの分担の仕事をやり遂げていました。全委員が協力し合うことができました。まさに、一人一人の煌めきでした。

そして今日、これまで準備してきたこと様々なことが発表されました。学年発表では、総合的な学習の時間の成果をそれぞれ発表してくれました。一人一人が何を考え、それらを学んでこれからどうするのか考えられた、いい発表になりました。部活動発表では、日頃あまり見ることができない仲間の努力や想いを知ることができました。学年展示では、昨日までの丁寧な準備がうかがえる、とても内容の濃い展示になりました。そして、音楽会では、歌っている一人一人の想いが伝わり、心に残る、素晴らしい発表になりました。こうして、私たちは、最後まで全校で活躍しながら若鷹祭をやり遂げることができました。

若鷹祭は終わりますが、今までの日々、そして今日ここできらめいていた皆さんの時間は、永遠に消えることはありません。それぞれの心の中で「煌座」が輝いています。私たちの中で若鷹祭が終わることはないのです。

最後に、協力してくださった全校生徒のみなさん、丁寧にご指導してくださった先生方、優しく見守ってくださった地域の方々、そして、若鷹祭に協力してくださったすべての方々に御礼申し上げます。

ありがとうございました。今ここに、若鷹祭の閉祭を宣言します。

## <若鷹祭閉祭式 校長講話より>

純粹に、ひたむきに、そして一生懸命 自分を表現しているみなさんの姿を見て、煌めいているな。今日一日の発表から、そんなことを感じました。みなさんは今どんな気持ちでいるのでしょうか。きっと達成感と充実感に包まれているのではないのでしょうか。そんな様子がみなさんの表情などから伺えます。

3年生の皆さん。間違いなくこの第59回若鷹祭をリードしてくれたのは、3年生のみなさんでした。リーダーシップ、チームワーク、思いやり、努力、数々の言葉が3年生を見ていると浮かんできます。一人一人がいかに煌めけるか そのためにはどうしたらよいかを考えてくれました。様々なことを考える



中で、何をしてもよいのか分からなかった日々。投げ出したくなった時。意見がぶつかりあった時。それを乗り越えて、小川中学校の全校生徒をここまで引っ張ってくれました。3年生、ありがとう。

今後、この若鷹祭のまとめをどうしていくのか。何を2年生に引き継いでいくのか。ぜひ考えて欲しいと思います。生徒会のリーダーとして残された日はわずかですが、最後に何を発信してくれるのか、楽しみにしています。3年生の歌声。すばらしかったです。歌に込められた思いが私に胸に刺さり、感動のあまり涙がこぼれました。3年生の歌声を聞けるのはあと卒業式だけかと思うと、何かさみしいです。

1年生の皆さん。初めての中学校の若鷹祭はどうでしたか。開祭式も閉祭式も、ステージバックも、アーチも、全て中学生が計画して、中学生が創り上げていく。それが若鷹祭です。2年生、3年生の先輩方はすごいでしょ。この若鷹祭を経験して、1年生は本当の意味での中学生になりました。中学生のすごさを知ったと思います。

1年生の歌声、歌詞にのせて自分たちの思いを伝えようとする姿よかったです。また、堂々と小川村のことを発表してくれましたね。これからの1年生の活躍が楽しみです。

2年生の皆さん。一年後には、間違いなく第60回若鷹祭がやってきます。そしてその若鷹祭をリードしていくのは、2年生の皆さんです。今の3年生や去年の3年生から、たくさんのことを教わり、たくさんのことを感じたと思います。一年後、節目の60回の若鷹祭になります。先輩方から学んだことを生かし、新たなことにチャレンジできるといいですね。2年生の合唱。きれいなハーモニーを響かせてくれました。また、登山学習から学んだことや働くことについて考えた姿。2年生の確かな成長を感じました。

「Star～一人一人の煌を～」第59回若鷹祭テーマのもと始まった文化祭も一人一人の煌めきを増し、間もなく終わりの時を迎えます。

与えられた役割を行うだけでは煌めきを増すことは難しいです。各自が真剣にそして熱意を持ち、若鷹祭を盛り上げ、成功させたいという気持ちがあったからこそ煌めきを増すことができたのではないかと思います。そんな場面が多く見られました。

「煌めきを増すこと」。それはまさに、成長という言葉で言い換えられるのではないのでしょうか。生徒の皆さんを大きく成長させてくれた、この若鷹祭に感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりましたが、若鷹祭の準備の段階から支援し励ましてくださった保護者の皆様、応援して下さった地域の皆様、そして早朝より終日、生徒たちを温かく見守って下さいました来賓の皆様、全ての皆様に感謝と御礼を申し上げ、挨拶と致します。本当にありがとうございました。

### ～若鷹祭の様子から～



開祭式



作文発表



1学年 総合的な学習発表



2学年 総合的な学習発表



3学年 総合的な学習発表



男女バレー部発表



水泳部発表



文化部発表



吹奏楽部発表



音楽会全校合唱



1年生合唱



2年生合唱



3年生合唱

## 10月の行事より

### <アン・ラトリッジ先生とのお別れの会とサラ・ワルサー先生の紹介式 10月8日>

ラトリッジ先生がご家庭の事情で実家のあるアメリカ合衆国に帰国することになり、お別れの会が行われました。小川中学校ではALTの先生として英語の授業を中心に4年間お世話になりました。小川小学校でも英語を教えていただいていたので、全校のみなさん全員が4年間お世話になりました。いつも笑顔で接してくれて、とてもわかりやすく英語を教えていただきました。小川村の英語の力を高めてくれた先生でした。

アン先生の授業はクイズやゲームを通して文法を学ぶことができ、とても楽しかったです。学校でアン先生に会うと笑顔で返してくれました。アン先生の笑顔は、いつも私たちを笑顔にしてくれました。先生とお別れするのはとても悲しいです。なぜなら、先生とは小学校時代から4年間お世話になったからです。アン先生、アメリカ合衆国に帰られてもお元気で、ご活躍されることを心より祈念しています。

～生徒会副会長 松本悠真さんの英語スピーチ訳より～

お別れの会の後も、新しいALTの先生との引継ぎもあり、10月8日まで学校に来ていただきました。アン先生の最終勤務日には、アン先生には伝えずに、全校でお見送りを行うことにしました。ラトリッジ先生は見送りのことは知らなかったのも、とても驚き、そして喜んでいました。

いつも笑顔でやさしかったラトリッジ先生、合衆国に戻っても教育関係の仕事の続けたいと言っていました。帰国後の生活も素晴らしいものになるといいですね。



### 新しいALTサラ・ワルサー先生の紹介式でのご挨拶です。

「こんにちは。私の名前はサラ・ワルサーです。ネバダ州のラスベガスから来ました。今回、初めて日本に来ましたが、日本の文化に興味をもっていました。日本語は話せませんが、勉強したいと思っています。小川は美しい村で、みなさんに会えることを楽しみにしていました。よろしくお願ひします。」



### <生徒集会 10月13日>

先日の生徒集会では、若鷹祭の振り返りを若鷹祭当日の映像を見ながら行いました。若鷹祭から10日間が過ぎているのですが、映像を見ると当日の感動がよみがえってきました。映像を見終わったところで、本部からこの若鷹祭を通して成長したこと、がんばったことについての発言が求められました。1年生の男子生徒は、部活動を頑張れた、理由は練習では上手いかなかったが、当日の本番では成功したからや、3年生男子は、裏方のスポットライト操作を行った。トラブルもあったが臨機応変に対応できたと言っていました。6名の方が発言しましたが、みなさん成長を感じられたようでした。

若鷹祭のように日々の生活の中にも成長が感じられるといいですね。



## ＜教育課程研究協議会 2学年 特別活動 授業公開 10月11日＞

本来なら12日火曜日に外部から30名以上の先生方が来校しての授業公開となるはずでしたが、生徒は当日登校しないということになったため、全校の先生方が見守る中、11日に授業を行いました。

授業は、2年生学級会「あいさつを活発するにはどうしたらよいか」でした。司会者の議題の提案後、あいさつをするには、あいさつをする雰囲気とルールが必要ではないかという意見から、話し合いが進められました。

小グループでの話し合いでは、あいさつをした回数で順位をつけ、景品を出すとか、会釈だけでもよいのではないかなど様々なアイデアが出され、それに対して全体の場では目的が景品になってしまい、あいさつの本来の目的から離れてしまうなど、あいさつの本質に迫る白熱した議論がありました。最終的には、あいさつしやすい雰囲気づくりのために他学年とレクレーションを行う、会釈だけでもよいと決まりました。

みんなが自分から意見を言える学級は素晴らしいと思いました。



## ＜お知らせ＞

### 1. 【一日小川②（10月19日（火））一人暮らし老人宅への訪問中止と代替行事について】

予定されていた一日小川②は、新型コロナウイルスの状況等を鑑み、お年寄り宅への訪問活動は中止といたしました。ただし、しめ縄や年賀状送付等の交流活動は今後も続けてまいります。地域へ積極的に貢献する気持ちを育てるという本来の目的のために、今年度は、代替活動として、19日の1時間目に学校周辺の清掃活動を計画しています。

### 2. 【第3回参観日（10月25日（月））について】

第3回参観日につきましては過日お知らせした通りですが、5校時に若鷹祭で実施できなかった運動会の要素を取り入れた、体育・放送委員会企画の「昼休コミュニティSP」を全校生徒で行います。運動会種目のリレー、綱引き、大縄以外にも新種目も企画されておりますので、ぜひ、ご参観ください。その際は、事前の検温マスクの着用をお願いいたします。その後、学年学級PTAになります。

なお、「昼休コミュニティSP」に先立ちまして、文化部のダンス発表を昼休み（13：25～）より、体育館にて行います。併せてご参観ください。

### 3. 【児童・生徒の健康を考える会（11月9日（火））下校時刻の訂正について】

先日小・中合同でお知らせした標記の会につきまして、下校時刻が14：30となっておりますが、中学生は健康を考える会に参加いたしますので、下校時刻は通常通り16：30となります。バス下校時刻も同時刻になりますので、よろしく願いいたします。

### 4. 【生徒会選挙日程（11月12日（金））訂正について】

年間予定表では、生徒会選挙が11月12日（金）となっておりますが、諸行事が重なり、生徒会三役候補者が十分に選挙運動の準備が行えないため、選挙日を11月18日（木）に変更いたしますので、ご了承ください。

### 5. 【前期がまもなく修了します】

前期が10月29日（金）で終了します。前期通知表は、10月29日（金）にお配りします。

